



とうえい

令和5年10月16日

東栄小学校

学校だより第6号

大きなパワーを生み出した！～運動会～

金木犀の甘く爽やかな香りが漂い始めました。10月3日（火）は天候にも恵まれ、運動会を行いました。「宣誓！私たちは今日、4年ぶりに全学年での運動会を迎えることができました。思うように活動できなかつた3年間。しかし、私たちはこの3年間を無駄にはしていません。仲間と協力する楽しさを知りました。思うようにできなくても工夫する力をつけました。これは支えてくれた家族、先生方、地域の方々のおかげです。



本当にありがとうございました。私たちは今までの学校生活のすべてを生かし、運動会に全力で取り組み、正々堂々と戦います。そして、敵も味方も全員を応援し、精一杯戦うことを誓います。」前期児童会長の力強い選手宣誓に心を打たれました。練習のときから一生懸命に取り組み、本番でも演技や競技で見せた「必死の表情」、負けていても最後まで気を抜かず「力を出し切った走り」、全力で楽しみながら流した「光り輝いた汗」は、見ていた人たちを感動させ、大きなパワーを生み出しました。

子どもたちが運動会を振り返った感想の中に「踊りが上手に踊れるまで苦労したけど、本番では自分なりにうまく踊れた」「走る練習をがんばったけど、あまりはやく走れなかった。でも、全力を出し切ったからすがすがしい気持ちです」などがあり、日々の練習の中で壁にあたり、難しかったことやしんどかったことが想像できます。壁の高さは人それぞれですが、乗り越えるための方法を自分で考えたり、友達や家族、先生に相談したりして、壁として立ちふさがっていたものを見事に乗り越えることができました。大事なことは、『何かを成し遂げるときにあたった壁は、一人一人の生活を邪魔するものではなく、人として成長させてくれる貴重なもの』だと思います。

さて、お家に帰った子どもたちはどのような話をしてくれたのでしょうか？がんばったことや悔しかったことなど、運動会について目を輝かせながら話をする子どもたちの姿が目に見えます。お家の人からも「よくやったね」「がんばったね」「最後までやり切る姿がうれしかったよ」など、このような会話があったのではないかと想像しています。運動会で活躍する子どもたちの笑顔、保護者や地域の人たちの声援と笑顔、子どもたちを見守る先生たちのガッツポーズや笑顔を見たことにより、学校全体が一つになり、何だか心が踊る一日となりました。最高の運動会でした。

～ちょっといい話 その6～



「通学団で登校中、低学年の子が転んでしまい、その状況に気づいた6年生が優しく声をかけながら手当てをし、ランドセルを持ってあげていました。温かい気持ちになりました。」地域の人からの電話はうれしいですね。

(校長 井田 寿)